

教えて! 市立病院



【今月のドクター】

心臓血管外科長
鈴木耕太郎 医師

私は、主に成人の心臓、大動脈、及び手足の動脈や静脈といった血管の病気に対する外科治療（手術）を担当しています。今回は、大動脈の救急疾患である急性大動脈解離のお話をします。

急性大動脈解離は、突発的に大動脈の内膜に亀裂が生じ、大動脈の壁が裂けてしまう病気です。激

〈第 111 回〉

急性大動脈解離^{かいり}について

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

烈な胸部、背部の痛みを伴い、時にはそのまま大動脈が破裂して死亡に至ることもあります。原因としては、先天的に血管の構造が脆弱^{ぜいじやく}なことから発症する場合がありますが、多くは生活習慣病である動脈硬化が原因となります。そして、喫煙習慣のある人に多い病気です。

特に心臓につながる上行大動脈^{じょうこう}に解離が及んでいる場合は、放置しておけば発症から 24 時間以内に 9 割の人が亡くなると言われており、緊急手術を要する疾患です。

手術は、胸の真ん中を切開して人工心肺という生命維持装置を装

着し、心臓の動きを止めて解離した大動脈を切除、人工血管に置換するという大掛かりなものになります。手術方法が確立されてきた現在は、手術死亡率も下がってきておりますが、重大な病気であることに変わりはありません。急に胸や背中が痛くなる病気としては、急性心筋梗塞に並び致命率の高い疾患なので気を付けなければなりません。

禁煙や適切な血圧管理などが予防としては重要ですが、気を付けていても前兆なく発症する病気です。急激な胸部や背部の痛みを感じたら救急車を呼んでください。